

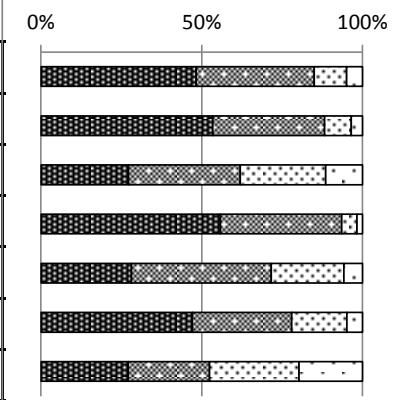


2月に実施いたしました学校評価の集計をお知らせいたします。学校評価にご協力いただき心からお礼申し上げます。集計・結果と主な考察を掲載しましたのでご一読いただきますようお願いいたします。今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

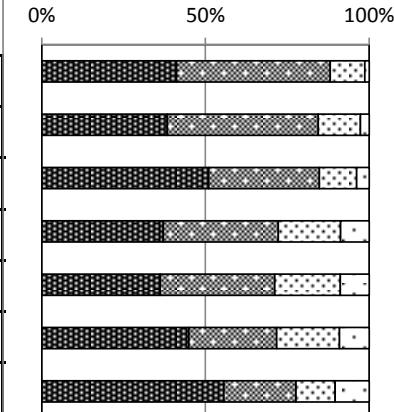


児童による回答

1	学校は楽しいですか。
2	先生は、学習を楽しく、分かりやすく教えてくれていますか。
3	分からないことや困ったことがあれば先生に相談していますか。
4	友だちや周りの人を大切にしていますか。
5	話をしっかりと聞き、考えて、自分の意見を言うことができますか。
6	家で進んで宿題や学習をしていますか。
7	学校でも家でも、よく本を読んでいますか。



8	学校などの約束やきまりを守っていますか。
9	先生や友だちに対して、言葉づかいに気をつけて話していますか。
10	自分から「おはよう」のあいさつや、「ありがとう」などの感謝の言葉を言うことができていますか。
11	「早寝・早起き・朝ごはん」など、規則正しい生活ができますか。
12	家で自分の役割やお手伝いをしっかりと行っていますか。
13	家で学校や学級のことについてよく話をしますか。
14	安全に集団登校で学校に通っていますか。



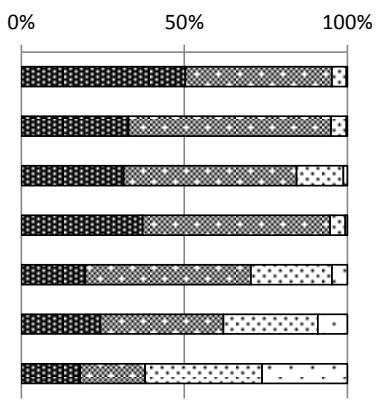
項目1「学校は楽しいですか」という設問に対して、「そう思う」と「大体そう思う」と答えた児童の割合が約85%で前期に続いて高い結果となりました。100%みんなが楽しいと答えることはなかなか難しいことだと思いますが、学校として、一人でも楽しいと感じができる児童が増えるように担任だけでなく、学年や複数の教職員が子どもたちと関わっていきたいと考えています。

項目2「授業が分かるかどうか」という設問に対して、10月のアンケートと比べてみて、「そう思う」「大体そう思う」と答えた児童が少し減っていました。学年の後半になってきて、学習を少し難しいと感じている児童が増えているようです。子どもたちの「わかった」という声を増やしていくように、分かりやすい授業、学習したことがしっかりと定着できるような取組を続けていきたいです。

今年度は国語科を研究教科として「読みの力」や「伝え合う力」の育成に取り組んできました。子どもたちの普段の姿では、自分の考えたことを相手にしっかりと伝えようとする姿やノートを丁寧に書こうとする姿に、その成果を見ることができます。国語科を通して学んだことを他の教科にも生かしていくようにしていきたいです。お家でもノート等を見た時や音読の宿題を聞いても、らつた時に励ましの声かけをお願いします。

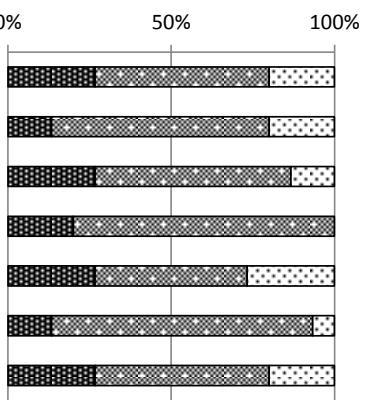
保護者による回答

1	お子さんは、楽しく学校生活を送っていますか。
2	教職員は、学習効果を上げるため分かりやすい授業を工夫していますか。
3	子どものことについて先生に気軽に相談ができますか。
4	お子さんは、友だちや周りの人を大切にしていますか。
5	お子さんは、話をしっかりと聞き、自分の意見を発表することができますか。
6	お子さんは、家で進んで宿題や学習をしていますか。
7	お子さんは、家でよく本を読んでいますか。

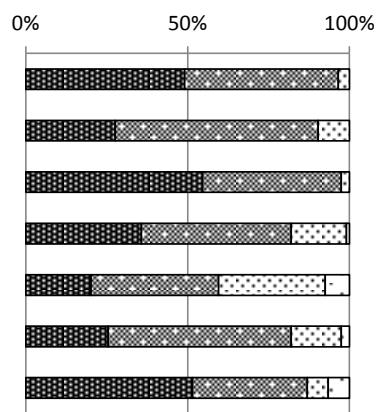


教職員による回答

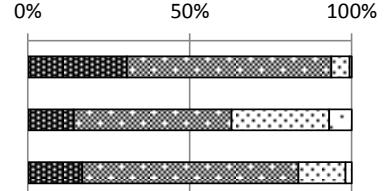
1	子どもが主体的に取り組める活動を意図的に行っていますか。
2	教材研究に努め、一人一人によく分かる授業を工夫していますか。
3	子どもや保護者の思いを受け止め、相談にのっていますか。
4	一人一人を徹底的に大切にし、児童同士が互いに認め合うことができる学級づくりを行っていますか。
5	子どもたちに「話す・聞く」という学習の基本ルールを身につけさせていますか。
6	家庭学習への働きかけや宿題の出し方の工夫を行っていますか。
7	本の楽しさに気づかせ、読書好きな子になるように指導していますか。



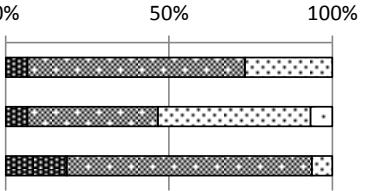
8	お子さんにきまりを守る大切さを教えていますか。
9	お子さんに時と場に応じた言葉づかいができるように話されていますか。
10	お子さんにあいさつや、「ありがとう」などの感謝の言葉を自分から言うようにお話しされていますか。
11	お子さんに「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身につくようにしていますか。
12	お子さんに家の役割(手伝い)を決め、実行されていますか。
13	お子さんと学校や学級についてよく話をしていますか。
14	お子さんが時間を守って集団登校で学校に通えるようにしていますか。



15	学校は、学校によりやホームページなどいろいろな取組を保護者の方に伝えていますか。
16	学校行事やPTA行事、地域行事にすすんで参加していますか。
17	学校は、家庭や地域と連携して、「地域ぐるみ」の教育を推進していますか。



15	おたよりやホームページなどで学年や学校の様子を積極的に伝えていますか。
16	PTA行事や地域行事にすすんで参加していますか。
17	学校は、家庭や地域と連携して、「地域ぐるみ」の教育を推進していますか。



項目8「約束やきまりを守る」という設問に対して、児童のおよそ88%が肯定的な回答をしていました。「約束やきまりを守ることは大切」だと分かっていても、つい場の雰囲気に流されることができます。きまりは誰もが気持ちよく、共に過ごしていくために必要なことで、「自分だけはいいだろう。」「ちょっとくらいいいだろう。」「他の人もやっているから、いいだろう。」等と考えるときに、きまりを守ることができなくなります。学校ではきまりを守る大切さについて、「自分も他人も同じように大切にする」という視点から、指導を徹底していきたいと考えています。

後期に人権月間の取組として、一人一人が「あいさつを自分からする」等の自分のめあてを決めて行動する機会がありました。自分で自分の行動を選択し、実行することができました。今後もこのような取組を充実していきたいと思います。

項目11「早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活が身についているか」という設問に対して、児童の肯定的な回答は72%にとどまっています。これは10月の73%と変わらず低い数値となっています。

健康な体は、毎日元気に過ごす原動力になります。さらには、学力の向上にもつながり、豊かな心を育みます。「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣は欠かすことができません。睡眠時間の確保や栄養をしっかり摂ること、体を動かすこと等、ご家庭でもご協力をお願いします。

学校運営協議会においてもご協議いただき、「集団登校することの意義」や「学級懇談会に参加して、子育てについて共に学び、情報交流することの意義」等を保護者も意識してほしいという意見がありました。また、「家庭での読書も大切だ」「情報を得る方法は多様化しているが、図書やSNS等、それぞれの長所を生かして正しく利用しなければならない」等のご意見をいたしました。

たきました。